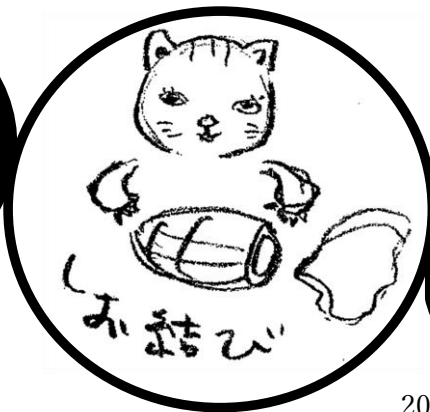


第64回  
全国  
保育問題  
研究集会

石川集会  
実行委員会  
ニュース



No.  
1

2024年10月発行



6月28日から開催された第63回全国保育問題研究集会 in 北海道は、対面（一部オンライン）開催で北海道の団結力と全国からの応援のお陰で無事終えることができました。

開催期間の3日間は札幌では珍しく30度を超える真夏日となり、参加者の方からも「札幌暑くない?」「関東と変わらない!」などの声があがるほどでした。分科会に向けて急遽実行委員が所属する保育所から扇風機を集め暑さ対策をしていると、参加者の方から「扇風機に保育所の名前が書いてあり、急遽集めたことを考えると感謝しかないです!」と伝えて下さる方もおり、

「ああ、やっぱり保問研っていいなあ」と胸が熱くなりました。また、私が所属する大学の学生が10名以上参加しました。どの学生も分科会や講演の感想を、目を輝かせて語ってくれました。次回の石川集会にも行きたいと、今から参加できることを楽しみにしています。まさに、気温も心も集会も“あつい”3日間となりました。

次回第64回全国保育問題研究集会は石川県で開催されます。2024年1月の能登半島地震の復興さなかでの9月の能登豪雨により、大変な状況下での生活を送られていることと思います。被災された皆様に一日も早く穏やかな日常が戻ることを願い、石川県でまた“あつい”思いを持った一同が集まり、様々なことを語り合えることを期待しています。

小林美花（北海道集会実行委員）

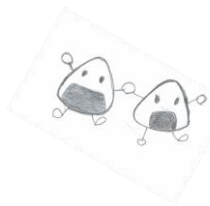


**石川集会は**

**2025年6月13日～15日**

（13日は夕方からの特別講座のみ）

**金沢星稜大学にて行われます。**



これから、その集会の準備状況や話題を定期的に実行委員会ニュースとして「しお結び」を発行していきます。



**担当は愛知保問研**です。どうぞよろしくお願ひします。石川集会への期待や、思いを寄せていただくと幸いです。

[2025shiomusubi@gmail.com](mailto:2025shiomusubi@gmail.com) まで

## 石川集会でまた会いたい 集会事務局長 高見亮平

今年、北海道集会が終わり、来年は石川に場所を移して全国集会は開催されます。

石川で集会を開催するのは、2015年6月の第54回全国集会以来となるので、実に10年ぶりとなります。参加されていた皆さんはどんなことを思い出すでしょう？

金沢大学の風景？ シャトルバスでの移動？ 開会式での御陣乗太鼓？ 夜の食事会？ 特別講座や記念講演、分科会など人それぞれに思い出があるのではないのでしょうか。

私といえば、翌年に東京集会が控えていたので、会場のスタッフにつきまとして動きややることを確認したり、その途中で会った宍戸さんの胸元のフクロウのピンバッチが素敵だったことなど思い出します(笑) あれから10年。石川の皆さんにつきまとしていた私が今度は集会事務局長として、石川集会に携わらせて頂いています。世の中どうなるか本当に分からないものです。

コロナも終わり、時代は大きく変容し始めていることは、皆さんも肌で感じていることかと思えます。変化がいいことも、悪いこともあります。全国集会の規模も小さくなりました。

特別講座の主たるものが配信というもなんだかスタンダードになりつつあります。

色々、色々ある中で今回の集会は全国常任委員が実行委員として企画、運営しています。

コロナが終わり、能登の地震が起こり、人と人とのつながり、強さが試される昨今、今こそ!という勢いを持って、全国各地の力を石川に注ぎ込んでいます。

会わないなんて選択肢はないでしょう! 会う一択でしょう!

会いたいという願望ではないのです、私は皆さんと会う!! そういう覚悟と期待を持っています! 石川で会いましょう!!



下の写真は 能登地方の「揚げ浜式」と呼ばれる伝統の塩作りで海水を汲み上げ、塩田に海水を撒いている様子です。この様子はNHKの連続テレビ小説(いわゆる朝ドラ)「まれ」で塩づくりの職人として田中泯さんが演じ、印象を強く残しました。筆者もこのドラマで揚げ浜式という塩づくりのことを知りました。

今回の実行委員会ニュースと集会速報は『しお結び』と命名されました。

「結ぶ」という言葉には「組んでつなぐ」、「つなぎ合わせる」、「人と人との交わりを緊密にする」、「一緒になる」などの意味があります。

この集会は全国みんなで作る集会だから、全国の方々と様々な場面で結びあい、つなぎあってひろがって、固く結ばれたいという思いがあります。だから漢字の「結び」です。

そして、石川集会であるため、石川(能登)のものは入れたいと思いました。ユーモアも含めそんなに真面目なものでもないようにと考えたのは「しお」です。そして「結」で「しお結び」!!この命名は石川のメンバーの満場一致で決定しました。

イラストは揚げ浜式塩づくりで海水を撒く猫です。どうぞかわいがってください。よろしくお願いいたします。



写真提供：石川県観光連盟